

生駒市ごみ減量市民会議あすか野自治会懇談会 記録（要旨）

1. 開催日時 平成28年11月6日（日）午後1時30分～3時10分

2. 場 所 あすか野自治会館

3. 次第

I. 開会

①黒田自治会長 挨拶

②ごみ減量市民会議メンバー紹介

③藤堂座長代行 挨拶

II. 「燃えるごみ減量に向けて」説明(パワーポイント)

追加資料 生駒市衛生社「スマートごみ分別でエコライフ」

III. 懇談

4. 出席者（敬称略）

【自治会員】 18名

【委員】 藤堂 宏子、永野 洋子、下山 一則、小山 忠昭、山口 昭夫、藤中 章夫

【事務局】 吉川(環境保全課長)、竹本(環境保全課課長補佐)、西井(環境保全課事業係長)

5. 懇談会内容（要旨）

●「燃えるごみ減量に向けて」説明

別添資料(パワーポイント)により説明

●懇談

ごみの出し方について

【質問】

[紙ごみ、ミックスペーパー・シュレッター]

Q. 小さな細々としたものはどのようにしたら良いのか？

A. 大きさを名刺サイズ以上であれば再生できる。

お菓子の箱等もミックスペーパーとして集団資源回収に出してもらうこともできる。

集団資源回収に出せない場合は、燃えるごみの日に出してもらうこともできる。

シュレッターごみは、集団資源回収に出せないと思うので、燃えるごみの日に出せる。

※あすか野では、集団資源回収でシュレッターごみを出していると声あり。

Q. 燃えるごみの日に、集団資源回収に出さず、段ボール等が結構出ているが、市は燃えるごみとして扱っているのか？

A. 資源として適正に処理している。

[プラスチック製容器包装]

Q. 小さな細々としたものはどのようにしたら良いのか？

A. 乾燥剤・弁当のバラン、箸等の細々としたものは、容器包装ごみではないので、燃えるごみになる。

容器包装リサイクル法に基づきリサイクルしているので、同じプラスチックでも製品

は出せない。

ダイレクトメールのビニール袋・クリーニング後のビニール袋はプラスチック製容器包装にはならない。

ややこしいが、基準は容器包装リサイクル法で国が決めているので、生駒市で独自のルールを作ることはできない。

大きいか小さいかの基準はないので、プラスチック製で商品を包んでいる包装か入れている容器かどうかということが基準になる。

プラマークが付いているかどうかで判断してもらうのが現実になる。

ヤクルトのパックを包んでいるビニールもプラスチック製容器包装になる。

Q. 汚れの基準はどうか？

A. 汚れの基準はあって無いようなものである。

例えばポテトチップスなら叩いてくずが出なければ油がついていても良い。

カップ麺もカレー系や焼きそば系は汚れがひどいが、それ以外なら濯いでもらうだけで良い。

引き取ってもらう検査があるので厳しくなっている部分があるが、検査で汚れの基準を何で判断するのかを聞いたら「リビングに置いて汚い不快と感じるかどうか」と言われた。

選別するときの基準は、きれいにする努力をさせていただいているか、歯磨きチューブでも絞って中身が出てこない状態で口を拭いておいてもらえば良い。

Q. カレーのカップ麺などは、洗わなかったら、臭いでカラスに荒らされるのではないか？

A. 臭いがあるようなプラスチック製容器包装を出す場合は、ごみボックスやネットなどを使ってもらわなければならない。

ごみ集積場を管理する立場から言うと、汚れたものを出されると当番の方が困る面がある。

リサイクルできるという趣旨から言うとある程度汚れを取ってもらえば大丈夫ということだ。

※「あすか野自治会としては、現在、ブラごみでネットは使っていないが、洗わなくても良いので、ネット使って出すということで良いのではないか。」との声あり。

Q. シャンプーとか洗剤とかのボトルは、洗って出せば良いのか？

A. 洗わなくても、ひっくり返して中味が出ないように出し切ってもらえば良い。ただ、詰め替え用の袋のタイプは、いくらやっても無理なので燃えるごみで出してほしい。破って洗って出すことも出来るが、水がもったいないのでやめてほしい。例えば、食器を洗った後の水を取っておいてもらえるのであれば問題ないが、新しい水を使ってしまうのはもったいない。

[その他]

- Q. 缶は潰さなくて良いと聞いたがそれで良いか？
- A. かさ張るなら潰してもらってもよいが、どちらでも良い。
- Q. 使い古した靴でもリユースできるのか？
- A. 穴があいていたり使えないものは、燃えるごみになる。
- Q. 転入者へのごみの出し方・分別についてどのように説明しているのか？最近転入してきた人のごみの出し方がめちゃくちゃで、いちいち転入者に説明しなければならない。プラスチック製容器包装に生ごみを入れて、出されるケースが増えている。
- A. 市民課に転入届を出された場合に環境保全課窓口へも回ってもらうことになっている。転入者には個々に収集日程表・ごみガイドブックを渡して、ごみの出し方・分別方法等を説明している。市民課では、指定袋のお試しセットを渡している。

有料化で燃えるごみ量は減ったかどうか

- ※有料化でごみが減った人に挙手を求めたところ多数の挙手があった。
ごみが減ったというより詰め込んで圧縮して入れるようになったとの声があった。
- ※有料化でごみが増えたという人に挙手を求めたところ挙手はなかった。
- ※これ以上ごみを減らすのは無理と考える人の挙手を求めたが挙手はなかった。

ごみ減量のアイデア

- Q. 今日来て一番良かったのは、この冊子〔生駒市衛生社「スマートごみ分別でエコライフ」〕を貰えたこと。ものすごく分かりやすい。市で作って配ることはできないのか？有料無料の区分があって生駒市の日程表よりも断然分かりやすい。分けたのに分けられない人がかなりいる。
- A. ごみ減量市民会議でも話があって、このような分かりやすいものを作ったらどうかとの意見が出ている。ご意見をいただいたので前向きに検討させていただきたい。

【ご意見】

ごみの組成調査で調理くず・食べ残しがかなり有って、ごみ減量のために生ごみ処理器の補助があると思うが、もう少しPRもしっかりしてもらえば、積極的にやる人が増えると思う。燃えるごみを半減するには、調理くず・食べ残しを減らすことがキーポイントになると思う。

生ごみの処理について

【実践例の紹介】

- ※3名が生ごみ処理器を使用していると発言された。
- ・電気式を使っている。
 - ・コンポストを2つ使っている。
 - ・容器に貯めて、1週間に一回畑に埋めているが、夏は臭くてたまらない。

キエーロの紹介

- ・電動式は、電気代が掛かる。
- ・コンポストは、出来た肥料を処理する畑等が必要になる。
- ・キエーロは、土の微生物でゴミを分解するので、量が増えない。
- ・バクテリア de キエーロを3年間使っている。

土は、畑の土と黒土を混ぜている。6カ所に分けて順番に入れている。

日のあたらないところに置いているが、夏場は2～3日で無くなっている。

冬でも1週間から10日で無くなっていると思う。キエーロの良いところは臭いがしないこと、コンポストもボカシも使ったが、臭くてたまらないので止めた。

キエーロも邪魔くさいなど快適といえない点もある。毎年燃えるゴミの20%をキエーロで処理している。

肥料としては使っていない。キエーロの良いところは、生ゴミを入れていっても土が増えないこと。

・正確に言うと、入れたゴミの60分の1は残る。無機物でどうしても残るが、60分の1になるので目立たなくなる。

・土の微生物でゴミが消えるが、それを利用したのがキエーロ、神奈川県葉山町の方が考案され地域で広められた。土に埋めても消えるが、蓋があることによって、消えるのが早くなり、表面が乾燥して臭いや虫が発生し難くなる。

・プランター de キエーロは、普通のプランターを使用しており、下に穴が開いているが詰めることもできる。器用な方ならどなたでもつくれる。プランターに屋根がついているだけだ。丁番を付けて波板を貼っているだけだ。蓋が無くても効果はある。

・玉ねぎの茶色い皮、バナナの上の固い部分など消えにくいものもある。

・11月13日に開催されるいこま博の真弓小学校体育館会場で、今年の夏、生駒市内の小学生在プランター de キエーロを使って研究結果報告してくれた分を展示している。子どもたちが一生懸命取り組んでくれ、模造紙等に写真入りでつくっているの、興味がある方はご覧いただければ非常に分かりやすいと思う。

・あすか野でキエーロを作りたいという人があれば、プランター de キエーロを設計した人もいるのでお手伝いさせてもらおう。

・写真のキエーロは、葉山で販売されていて、バクテリア de キエーロは14,000円、ベランダ de キエーロは16,500円で、購入いただくと4分の3の補助が付きますので、利用されるのも一つですし、これくらいの物であれば日曜大工で作ってもらうことも可能だと考えています。プランター de キエーロは、製作講習会で500円の負担をいただいて作成いたしましたので、いこまハート工房さんの協力を得て製品も500円で販売していきたいと考えている。

【ご意見】

・ふるらむには非常に多くの方が来る。花とか家庭菜園をする人が多く来るのでそういう場所を活用すれば良いのではないかな。

Q. 興味のある人は自分で作るが、道具とかを持っていない一般の人で興味が低い人を対

象に、キエーロをつくる講習会をして、PRすべきではないか。

- A. キエーロの講習会は実施しているが、なかなか市民の方にお伝えできていない部分がある問題点であると思うので、今後もいろんな方に知ってもらう努力をしていきたい。
- Q. 生駒市としてごみ半減を目指しているが、意識がある人はやるが意識の無い人はやらない、ごみを分別して減らしていくのがメインで、食品を無駄に買わないとか、啓蒙活動としていくべきだと思うが、生駒市としてどうしていくのか。
- A. 例えば、今日、懇談会等開催させていただいているが、市民の方と直接話をさせていただく機会を増やしていくのも一つだ。ミックスペーパーやプラスチック製容器包装はどのように分別すればよいのか、個々に具体的に説明していくしかないと考えている。
- Q. 学生にはこのようなことを学習する機会はあるのか。
- A. 小学校4年生でごみの分別や施設見学等の学習を行っており、給食でも食べ残しをしないなどの指導をさせていただいている。
- Q. 子どもは、実際にごみの分別をしないので、もっと年のいった人に教育しないと普及しないのではないか。
- A. 啓発活動をするのは難しい。施設見学等の募集をしても人が集まらない。環境フェスティバル等を長年やっているが知らない人が多い。良い方法があれば教えていただきたい。来ていただいた方は良く分かったと言っているが、中々広まらない。
- Q. キエーロに入れる土は、何を入れれば良いか。
- A. 普通の畑の土とか、ホームセンターで購入されるのであれば黒土、特に拘らなくても良い。
- Q. 母が土に埋めていたが、イタチが来るし、特に早く消えたという記憶はない。
- A. 実際にベランダ de キエーロを使っているが、同じ時期に庭に掘って埋めたものとキエーロに入れたものでは、どちらが早く消えるか実験をした。結果、蓋があるキエーロの方が早く消えた。夏なら2日ぐらいで完全に消える。

【ご意見】

- ・キエーロとか良いと思うが、自分が使うとなると、仕事をしていると、時間が無いか時間があってもめんどくさいとなってしまう。ごみの減量を考えるならば、食品を計画的に買うとかするほうが、めんどくさくなくて効果的だと思う。そういうことを市の方でもっとアピールしていただきたい。
 - ・プラスチック製容器包装の分別についても、容器であるとか容器でないとか、国の基準があるかもしれないが、同じ材質のプラスチックであれば、同じように再生できるように国に言っていただくのも一つの案ではないか。
- Q. プラスチック製容器包装とかビン・缶の資源ごみ集積所を増やすことはできないのか。年寄りが多くて持っていくのが大変だ。生ごみ集積所と同じ所に資源ごみ集積所を設置してほしいという要望がある。
- A. 資源ごみ集積所は、おおむね50軒単位で1ヶ所と規定上なっていますが、若干少な

くても良いと思っている。プラスチック製容器包装は嵩が高いという部分もありますので、今後検討していきたいと考えております。

Q. 市の方に申請したら家の前に取りに来てもらえるものがあるのか。

A. まごころ収集を実施している。高齢・障がいをお持ちで集積所へのごみ出しが無理だという方、規定上は要介護2以上とあるが、個々に市に相談していただければ、対象になるかどうか判断させていただきます。

Q. 燃えるごみの集積所と資源ごみ集積所を同じ場所でできないか。アップダウンがあり、距離もある。誰が出したごみかも把握しにくく、ごみが残った場合の管理が大変だ。

A. そうしていきたいとは思いますが、収集運搬経費がかなり掛かってくる。その兼ね合いもあるので、今後検討していきたい。

Q. 有料化になってお金はいくら集まっているのか。

A. 27年度、指定袋・処理券の売上は、1億5千万円、先ほどの生ごみ処理器補助金、太陽光発電の補助金等で8千万円ほど、製作経費として4千万円ほどかかっているのので、差引約1,200万円ほどが残ることになる。

【ご意見】

資源ごみ集積所の数を増やすのに収集運搬経費が掛かるのであれば、有料化で出たお金をあててほしい。ごみにまつわることでお金を集めているのに、環境などの自分たちの都合の良いことにお金を使っている。先にごみにまつわることにお金を使うべきだ。